

めざす子ども像…

豊かな心で互いの違いや多様性を認め合える子ども  
自分の考えや良さを言える子ども  
自分自身でしっかり考えて行動できる子ども



## “考える子”になろう



賢さのとらえ方は人それぞれですが、それを身につけていくために必要なことと言えば、やはり“考える”ということではないでしょうか。子どもたちが学校の内外で安心・安全な毎日を過ごすためにも、いろいろな場面でしっかりと“考える”ことが欠かせません。

例えば、放課後や休日に友だちと一緒に外で遊ぶ場面では、遊びを始める前に、まずは落ち着いて考えてほしいと思います。「この場所で遊んでもいいのかな?」「この時間に遊んでもいいのかな?」「この遊びをしてもいいのかな?」「一緒に遊ぶ友だちはどう考えているのかな?」「地域の方が自分たちを見てどう思うのかな?」などなど。

外で元気に遊ぶのであれば、時に、転んで膝を擦りむくといったケガをすることもあると思います。それを恐れていたら遊ぶことはできません。でも、してしまったケガの原因が車にひかれるとか、川で溺れるとか、高いところから落ちるとか、不審者に乱暴されるとか、そういったことであったとしたら…それはもう取り返しがつかなくなってしまう可能性があります。そんなことに絶対にならないように、遊び始める前にきちんと考えられる子どもに、すべきかどうかきちんと判断できる子どもになってほしいのです。

“考える”とは、しっかりと脳を働かせ、具体的に想像するということです(やがてそれは“創造”にもつながっていきます)。まずは子どもたちには、様々な生活場面において、「この後どうなるのかな?」としっかりと考えてほしいと思っています。

もちろん、想像力を高めるためには、様々な経験の蓄積が必要です。まだ十分でない子どもたちの経験を補うためには、わたしたち大人からの適切な助言が欠かせません。保護者の皆様からも、機を見てお子様に、また地域の子どもたちに、あたたかいひと声をかけていただけたらと思います。



### 2月の目標「ボランティア活動、行事等に協力します」(『あたりまえ10箇条』・第10条)

「誰かの役に立ちたい」「みんなに喜んでもらいたい」それは、子どもが本質的にもっているよさのひとつではないでしょうか。そんな純粋な気持ちが存分に発揮できる場面を、学校生活の中にたくさんつくっていききたいと思っています。

### 新しい登校班がスタートします!

地区委員の皆様、新登校班の編成、本当にありがとうございました。



明後日、2月2日(水)に「地区児童会」を実施いたします。この会では、来年度の新登校班のメンバーや並び方等について全員で確認をします。これからも仲よく安全な集団登下校が続けられるように、しっかりと準備してほしいと思っています。

地区児童会終了後、新しい班で「地区別一斉下校」を行います。そして、翌3日(木)の朝から、新しい班での集団登校がスタートします。6年生については、下級生にアドバイザーをするという立場で、卒業式の前日まで、登校班で登校してもらいます。(再編成で班が無くなった場合は、ご自宅に最も近い登校班に入ります)。1~5年生の子どもたちは、その間に安全な歩き方を学ぶとともに、お世話になった6年生にきちんと感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。

なお、2月8日(火)の「仮入学」の日についてですが、今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新入学児童・保護者との地区別一斉下校を行わないことになりました。もしもご近所にお住まいの新入学児童の保護者の方が集合場所や通学路等についてお困りでしたら、声をかけていただくと大変助かります。

※ メールでもお知らせいたしましたが、2月2日(水)の地区別一斉下校は、**新登校班に移行するための大切な練習の機会**となります。当日、できるだけお子様が参加できるように、ご配慮をよろしくお願いいたします。